

世界が出会う家

現在の国連本部の敷地はかつて、食肉処理場、町工場、電車車庫などがあった荒れ果てた土地でした。片側の1番街ではトラックが激しい音を立てて行き交い、もう一方のイースト・リバー・ドライブでは、乗用車が猛スピードで走っていました。今日では、39階建ての国連ビルが空高く聳え立ち、この場所の眺めも一変してしまいました。当初、ニューヨークは国連本部の設置場所としては検討もされていませんでした。欧米のいくつかの都市が誘致活動を行っていたからです。常時航海を行う船の上に国連を設置し、恒久的な世界周航状態に置くという案さえ出されました。

1946年に第1回総会がロンドンで開会されてから、常設本部の場所が決定する



まで、国連は漂流者のような存在でした。1946年3月、国連はロンドンからニューヨーク州ブロンクスのハンター・カレッジへと移り、さらに1946年8月には、ニューヨーク州レイク・サクセスのスペリー・ジャイロスコープ・プラントへと移転しました。レイク・サクセスへの移転前に、安全保障理事会はマンハッタンの5番街にあるヘンリー・ハドソン・ホテルで2、3回会合を開いたこともありました。

1945年12月10日、米国議会は国連常設本部の米国国内への設置を招請しました。この招請を受け入れる決定は1946年2月14日、ロンドンの第1回総会で行われました。総会はまた、現在の国連本部の敷地を購入するため、ジョン・D・ロックフェラー2世から850万ドルの寄付を受け入れました。ロックフェラーからの寄付に呼応して、ニューヨーク市は敷地内および隣接地の一部の土地を寄贈しました。

国連本部ビル
1989年10月

この敷地の面積は18エーカーで、国連が所有し、国際領土となっています。国連は敷地内に自前の消防隊や警備員を有しているほか、国連本部には米国政府の郵便局が置かれ、国連切手が販売されています。

本部ビルの設計は、ウォーレス・K・ハリソン（米国）が率いる世界的に著名な11人の建築家チームが担当しました。設計者たちは当初、8500万ドルをかけて45階建てのビルを建設しようとしていました。後に、建設費用が2000万ドル削減され、ビルの規模も39階建てに縮小されました。国連ビルの定礎式は1949年10月24日に行われました。それから19ヵ月後の1951年8月21日、事務局職員は新たな職場への引越を開始しました。

国連本部は事務局ビル、会議ビル（理事会議場、会議室および食堂施設からなる）、総会ビル、図書館、地下3階建ての印刷工場、カフェテリアなど、それぞれの建物から構成されており、それぞれの

ビルは相互に接続されています。また、地下3階建ての駐車場は、1000台以上の車が収容できるようになっています。

国連本部の敷地に選ばれた場所。41丁目のチューダー・シティから北に48丁目を眺めたところ。
1949年10月。

